

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【公開番号】特開2007-72252(P2007-72252A)

【公開日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-011

【出願番号】特願2005-260335(P2005-260335)

【国際特許分類】

G 02 B 7/08 (2006.01)

G 02 B 7/10 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 5/232 (2006.01)

【F I】

G 02 B 7/08 C

G 02 B 7/08 Z

G 02 B 7/10 E

H 04 N 5/225 D

H 04 N 5/232 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮像装置に着脱可能に装着されるレンズ装置であって、

第1の操作手段と、

該第1の操作手段の操作に応じて、前記撮像装置の機能をコントロールするための信号を出力する制御手段と、

該レンズ装置の機能をコントロールするための第2の操作手段とを有し、

前記第1の操作手段は、前記第2の操作手段を操作する位置に置かれた使用者の手で操作可能な範囲に設けられていることを特徴とするレンズ装置。

【請求項2】

前記レンズ装置の該機能と前記撮像装置の該機能とが、撮影において併用される機能であることを特徴とする請求項1に記載のレンズ装置。

【請求項3】

請求項1又は2に記載のレンズ装置から入力された前記信号に応じて前記機能を実行することを特徴とする撮像装置。

【請求項4】

請求項1又は2に記載のレンズ装置と、

該レンズ装置から入力された前記信号に応じて前記機能を実行する撮像装置とを有することを特徴とする撮像システム。

【請求項5】

前記制御手段は、前記第1の操作手段が第1の状態にある場合に前記第2の操作手段の操作に応じて前記レンズ装置が有する第1の機能をコントロールし、前記第1の操作手段が第2の状態にある場合に前記第2の操作手段の操作に応じて前記撮像装置が有する第2

の機能をコントロールするための信号を出力することを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 つに記載のレンズ装置。

【請求項 6】

前記第 1 の機能と前記第 2 の機能とが、撮影において併用される機能であることを特徴とする請求項 5 に記載のレンズ装置。

【請求項 7】

前記第 1 の機能は前記レンズ装置の光学ズーム機能であり、前記第 2 の機能は前記撮像装置の電子ズーム機能であることを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載のレンズ装置。

【請求項 8】

前記第 1 の機能は前記レンズ装置の絞りを駆動する機能であり、前記第 2 の機能は前記撮像装置の電子シャッタに関する機能であることを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載のレンズ装置。

【請求項 9】

請求項 5 から 8 のいずれか 1 つに記載のレンズ装置から入力された前記信号に応じて前記第 2 の機能を実行することを特徴とする撮像装置。

【請求項 10】

請求項 5 から 8 のいずれか 1 つに記載のレンズ装置と、
該レンズ装置から入力された前記信号に応じて前記第 2 の機能を実行する撮像装置とを有することを特徴とする撮像システム。